教育かわら版

こんにちは教育委員会です ふたたび

No.１４５
令和２年８月３日発行
今金町教育委員会の会

葉月

８月を迎えました。
学校は本来ならば夏休みの時期ですが、あと１週間、ゆったりと授業や思い出づくりの時間にしていただければと思います。
去年の今頃は予想もしていなかった新型コロナウイルス感染状況ですが、その沈静化を願うと共に、町教委として「新しい生活様式」に沿って、どう社会教育などの事業を活性化していくか、慎重に、科学的状況を押さえて、対応を進めていこうと考えております。
油断も慢心もしません。でも、思考停止もしません。慎重の上にも覚悟だと思います。

今金っ子って

休校期間、静かな学校と、街中でも見かけることのなかった子どもたちの姿。
やっぱりいい。子どもたちがいるって。子どもたちが動いているのって。そしてその様子を見つめる大人の方々がいるのって。
今金が元気なのは、子どもたちがそれほど減っていないことが大きいなあ。転勤族だった者の実感です。
昨年、令和２年度の教育行政執行方針案を教育委員さんにご覧に入れた時のことです。
「教育長が考える『今金っ子』ってどんな子ですか」そう尋ねられました。
規律正しい子です。挨拶が気持ちよい賢い子。平たく言えばきちんとしている子です。素直な子は伸びます。可愛がられます。大人だって、素直な人が伸びます。そんな子を育てたいのです。そう答えました。
今金の子は可愛いです。それは、教師として今金の子どもたちを教え、校長として戻していただいて、また違う世代の子たちとふれ合えた財産からの本音です。
どこに行っても、大人になっても受け入れられる、可愛がられる人間に。幸せになってほしい。それだけです。

エッセイ(作文) コンテスト



今年度初の取組。今金エッセイコンテスト。
読書と作文のまちプロジェクトチームの事業です。
とにかく楽しみ。
一年目は、大人の作品は少ないかもしれません。でも、いいのです。
まずは一歩を踏み出す。読書は input　作文は output。
心を豊かに。思いを伝える表現力を。
そして、子どもたちの学力、EQ の高まりを。
優秀作品には映像と音楽をつけた発表会を企画しています。
やがて子どもたちの、町の人々の文章表現力が、この町の雰囲気がまた良くなっていく。
そう夢見て、わくわくしています。

教育委員リレーエッセイ

『なお、旅の途中』

今金町教育委員　　船　木　　恵

少し照れますが、私の読書にまつわる話から始めましょう。
小さな頃から身近には、いつも絵本や本がある家庭で育ちました。実のところ、それは「本が好き！」ということでもなかったし、あまり感情を表さない子どもだったので両親の心配解決は本に頼ることで落ちついたのかも知れません。
意志がないので、周りからはお利口さんで良い子ねぇ･･･のおほめの言葉が･･･苦笑いです。
しかし、本当のところを知っている親としては、「これは困った」ということになったのでしょう。思い起こせば、それはそれは贅沢な仕掛けだったのですが･･･。

少しずつ頁を開く楽しみが将来の自分にとって、どんな意味を成すのかもわからず親しんだ絵本たち。小さな冒険にハラハラし、忘れられる事の心細さに共感し、自らの運命に立ち向かう逞しさに憧れ、他者を思いやる行動や心に勇気を見つけ、時にはユーモアの世界に癒やされたものです。そして最後の頁を閉じる時、どの本にも希望という光がある事に安堵したものです。
これまでも、そして今でもたくさんの優れた絵本に出会う度にときめきの瞬間がある･･･そう思わずにはいられません。

自粛生活の続くコロナ禍の中、何気なく目にした TV 放送で、
「これまで」が「これから」を決めるのではなく、「これから」が「これまで」を決める。
という言葉に出会いました。
それは、理論物理学者の佐治晴夫さんという方のドキュメントで、学者でありながら数学や音楽、詩などにも造詣が深く、物理学や宇宙論などの難しい話をわかりやすく教えてくれることで有名な先生のストーリーでした。
「ゆらぎ理論」の第一人者となった佐治さんは、全国の子どもたちへの授業行脚で、教える事は「希望を語る」事であり、授業とは「相手の心に火をつけること」とし、それが生きている人間の役目だと気づかれたそうです。
私たちが生きる世界の不思議や仕組みを紐解いていくユニークな内容で、子どもたちにたくさんの気づきの種蒔きをしているのです。

さて、前段の読書体験と佐治さんのストーリーが、どう私の中でつながったのか･･･。
どうやら絵本との出会いは、私に将来の種を蒔いてくれた時間だったようです。
佐治さんはこの番組の最後に、こんな言葉を贈って下さいました。
「過去は新しく、未来は懐かしい」
とても素敵な笑顔で･･･。



過ぎ去った時間や自分はもう存在しないけど、明日からの新しい自分はちゃんと居るのです。
未来を良しとする時、過去が優しく微笑む。
かつての時と未来をつなぐ今をどう生きるか･･･種蒔きの大切さをしみじみと教えられた瞬間です。
今、大切に種を蒔かれ、その種を上手に育んでいる若い人や子どもたちが、将来どの様に過去を輝かせてくれるのか、とても楽しみです。
そして思うのです。
単なる理想ではなく、計画を持って準備された夢や希望を考える時、すべての美しい言葉や行動には祈りの心が込められているのだろうと･･･。

塗り重ねたものを磨けば、きれいな模様になる人のストーリー。
その物語から発することのできる美しいセリフを持つ人生を歩みたいものです。